

丹後人権教育指導者研修会

令和7年9月30日（火）、与謝野町生涯学習センター知遊館において公民館等関係者を対象に「令和7年度丹後人権教育指導者研修会」を開催しました。

講師には穀雨企画室 代表 渡辺 毅 様をお迎えし、「住みよい地域づくりに向け、身近な人権について考える」と題して講演・演習をしていただきました。

住みよい地域づくりに向けて、さまざまな視点や角度からものごとを考えていくことの大切さについて参加者が気付き、人権感覚を磨く機会となりました。多様性を認めているつもりでも、画一的な視点で判断してしまい、一人ひとりの良さを十分理解できないまま、深い関係づくりを回避しているのではないかなど、多くの御示唆をいただきました。

この研修会を機に、丹後地域における人権教育がさらに充実し、誰もが安心して暮らすことができる地域になるよう、皆様とともに学び続けていきたいです。



<参加者感想より>

- ・グループの中で、答えを気にせず話し合い、様々な考えに触れながら考えを深めることができました。傾聴しながら考え、話し合える関係づくりが今後の地域の中でも大切だと感じました。
- ・今回の研修を通じて、気付かないうちに自分が偏見をもって人を見ていたり、自分勝手なレッテル貼りをしたりしていることに気付くことができました。
- ・多様性を尊重すること、一人ひとりの人権や良さを理解すること、認めること、今までの概念を変えることが大切だと思いました。ワークショップを通じて人権感覚を磨くことができました。

